

海外研修派遣者一覧

年度	美術館名	派遣者	派遣先	期間	研究テーマ
1983年度	北海道立近代美術館	五十殿 利治	オランダ	83年7月～9月	モンドリアンとオランダの自然
	埼玉県立近代美術館	坂本 哲男	フランス、英国、西ドイツ	83年10月～11月	現代社会における美術と美術館ならびに市民生活のかかわり
	富山県立近代美術館	大坪 健二	アメリカ、西ドイツ	83年10月～12月	現代美術、特にアメリカとヨーロッパ
	宮城県美術館	新田 秀樹	アメリカ	84年1月～2月	美術館における教育活動の実状
1984年度	三重県立美術館	牧野 研一郎	アメリカ、イタリア	84年4月～6月	曾我蕭白をはじめ日本絵画の海外流出について
	兵庫県立近代美術館	中島 徳博	西ドイツ	1984年9月	ハンブルグを中心にした北方ドイツ美術工芸
	下関市立美術館	田中 晴久	エジプト、トルコ、英国	84年9月～12月	中近東の古代美術
	大阪市立美術館	脇坂 淳	アメリカ	84年10月～11月	近世日本絵画のアメリカ流出について
	岐阜県美術館	古川 秀明	イタリア	85年1月～3月	フィレンツェ絵画の特質
1985年度	神奈川県立近代美術館	足立 朗	フランス、アメリカ	85年4月～5月	美術資料整理の近代化
	富山県立近代美術館	丸山 玲子	北欧5ヶ国	85年5月～7月	北欧5ヶ国のデザイン調査
	広島県立美術館	岡本 隆寛	アメリカ	85年9月～10月	小林千古の作品調査とアメリカで活躍する画家たちの調査
	京都市美術館	井上 明彦	フランス	85年9月～11月	フランスにおけるミュゼオロジーのあり方、今後の美術文化交流について
	栃木県立美術館	小勝 禮子	フランス、英国	85年9月～11月	19世紀末のフランス美術に見られるジャポニズム、英国のアンダーソンのコレクションについて、ロートレックについて
1986年度	埼玉県立近代美術館	伊豆井 秀一	オーストラリア、イギリス	86年9月～10月	オーストラリアの美術館を訪れ現在の美術状況とヨーロッパ美術の現状を研究調査
	北九州市立美術館	真武 真喜子	フランス、ドイツ、アメリカ	86年9月～11月	フランス美術行政地方権化促進組織FRACの現状と世界同時的に様々な動きが乱立している現代美術界の調査
	長崎県立美術館	徳山 光	スペイン	86年5月～6月	スペインの歴史的背景の中で独特な感情表現をもった作品の研究
	世田谷美術館	清水 真砂	イギリス	87年2月～5月	イギリス各地の工芸運動の研修ならびに古都にある比較的小規模な美術館の業務全体の動きの調査
1987年度	群馬県立近代美術館	山田 烈	イギリス、フランス、ドイツ、オランダ	87年5月～7月	欧米の日本美術作品の紹介、新資料の発見・研修及び日本近世絵画史資料の確認・発掘
	姫路市立美術館	岸野 裕人	スイス、南フランス、西ドイツ、スペイン	87年7月～10月	スイス国内におけるハンス・エルム展示状況、カンディンスキーやミロの周辺を探索
	山梨県立美術館	守屋 正彦	アメリカ	87年8月～10月	アメリカ主要美術館の日本美術関係遺品、資料等の保管・展示調査ならびに日本近世・近代絵画の文人画のデータ収集
	宮城県美術館	西村 勇晴	ドイツ、スイス、オランダ	87年9月～11月	初期ブリュッケ及びフォーランクスの画家たちの作品調査とドイツにおけるゴッホ、ゴーギャンの展示歴
	福島県立美術館	早川 博明	アメリカ	87年10月～88年1月	19世紀以降から現代に至るアメリカン・リアリズム美術の系譜の実地調査
1988年度	滋賀県立近代美術館	小林 昌夫	アメリカ、イギリス、オランダ、西ドイツ	88年4月～7月	戦後アメリカ絵画の資料調査、ヨーロッパから見たアメリカ絵画の隆盛を検証
	大阪市立美術館	中川 憲一	中国	1988年10月	元来四大家をはじめとした明清の文人画や文徴の調査、南京で活躍した文人の研究
	北海道立近代美術館	水田 順子	フランス、西ドイツ	88年10月～12月	アール・ヌーヴォー及びアール・デコのガラス作品を中心に近代ガラス工芸の展開とその特質についての研究
	呉市立美術館	福永 治	イギリス、オーストリア、フランス、イタリア、スイス	88年8月～11月	現代の陶芸分野におけるヨーロッパ諸国の活動と我が国の活動の対比、資料収集、調査研究
	下関市立美術館	井土 誠	フランス、スイス、イギリス、西ドイツ	88年9月～10月	高島北海のヨーロッパにおける足跡調査とそれに関する欧文献の調査
	北海道立旭川美術館	浅川 泰	イギリス、フランス、西ドイツ	89年1月～3月	ブレイク、ラスキン、モリスにおけるゴシック美術の影響と社会的実践に関する資料の調査、収集
1989年度	奈良県立美術館	南城 守	オランダ、イタリア、フランス	89年5月～7月	素描(デッサン、ドローイング)がこれまでに果たしてきた歴史的な役割と保存・収集・展示の実態の調査と研究
	福島県立美術館	岡部 幹彦	オランダ、ドイツ、オーストリア	89年10月～90年1月	近世日本の洋画画に影響を与えたオランダ美術の調査と版画素描の整理法、保存法、展示技術等の調査
	富山県立近代美術館	島 敦彦	オランダ、フランス、アメリカ	89年9月～11月	現代美術に力を注ぐ欧米美術館の活動の実態と大戦後から今日に至る現代美術の位置づけを調査
	神奈川県立近代美術館	橋 秀文	フランス、ベルギー	90年1月～2月	版画、デッサン、スケッチブックなどの保存、整理で長い歴史を持つ欧州美術館での研究、調査
	三重県立美術館	荒屋 鋪透	フランス	90年1月～3月	フランスの美術館が所蔵するアカデミシャンやサロン系画家の作品を調査研究し、リストを作成
	群馬県立近代美術館	黒田 亮子	イギリス、フランス、スウェーデン、デンマーク	90年1月～2月	フランス、イギリスの染色作品をコレクションする美術館において様々な染色作品を調査・研究し、展覧会実現をはかる
	静岡県立美術館	小針 由紀隆	イタリア、イギリス、フランス	90年10月～91年1月	17世紀、ローマにおける風景画芸術の展開に関する関連資料の調査

1990年度	渋谷区立松濤美術館	福井 泰民	イスラエル、エジプト、イギリス、フランス	90年8月～11月	中近東、地中海域の美術及び古代中近東の象牙彫刻の調査研究
	栃木県立美術館	杉村 浩哉	イギリス、イタリア、フランス	90年8月～10月	コンスタンブルはじめイギリス自然主義派作家の調査及び資料収集
	横浜美術館	倉石 信乃	アメリカ	90年9月～10月	アメリカにおける美術館活動の中での写真芸術の位置付け及び作品収集・展示の実態調査
	目黒区美術館	降旗 千賀子	アメリカ	90年10月～11月	アメリカの美術館、博物館における教育部門の組織や活動実態の調査
1991年度	埼玉県立近代美術館	大久保 静雄	フランス、イギリス	91年11月～92年2月	まだ未知の点の多い田中保作品のシアトルとパリにおける判別を中心とした調査および資料の収集
	渋谷区立松濤美術館	光田 由里	アメリカ、フランス、ドイツ他	91年9月～12月	ニューミュージアムにおける美術館運営の調査とパリ6区渋谷区姉妹区交流特別展の準備
	町田市立国際版画美術館	佐川 美知子	ドイツ、オーストリア	91年8月～11月	西欧初期木版の表現の特質とその変遷の調査、収集形態と保存の現状、閲覧システムの見学
	京都府京都文化博物館	南 博史	中国、タイ	92年1月～3月	特別展実施のための予備調査、彩文土器が顕著なアジア各地域の主な博物館での資料調査
	ふくやま美術館	谷藤 史彦	イタリア	92年1月～3月	1980年代後半からのイタリアにおける現代美術とデザインの新しい動向の調査
	横浜美術館	林 サエ	イギリス、フランス、イタリア	91年10月～12月	英国留学をはじめとする外遊時代の下村観山の画業の手掛かりを探索し、観山研究に寄与する
1992年度	伊丹市立美術館	村田 正則	フランス	93年1月～4月	ドーミエを中心とする諷刺版画にまつわるフランスでの研究
	山梨県立美術館	飯野 正仁	イギリス、フランス	92年10月～11月	クロード・ロランの作品の実見、表現法・画風の変遷についての調査、資料の収集
	和歌山県立近代美術館	浜田 拓志	デンマーク、ドイツ、オランダ、フランス、イギリス	92年8月～11月	ルイジアナ美術館のメンバーシップの組織・活動内容の調査、現代美術と普及活動の現況の調査
	静岡県立美術館	尾島 美那	アメリカ	92年7月～10月	アメリカにおけるモダニズム研究の現状の調査
	福岡市美術館	黒田 雷児	フランス、イギリス、アメリカ	93年2月～5月	アンディ・ウォーホル「エルビス」シリーズ調査。欧米で活躍するアジア作家の調査
1993年度	山梨県立美術館	向山 富士雄	アメリカ	93年8月～10月	アメリカにおける美術教育の現状ならびに教育普及活動の研究
	東京都写真美術館	岡塚 章子	アメリカ	93年6月～8月	写真の保存と保管修復技術の習得
	群馬県立近代美術館	徳江 庸行	アメリカ、イギリス	94年2月～3月	マーク・ロスコと色面抽象絵画
	滋賀県立近代美術館	占部 敏子	イタリア、フランス、オーストリア	93年6月～8月	ロッソ・フィオレンティーノの様式の変遷について
	茨城県近代美術館	林 和男	アメリカ、イギリス	93年8月～11月	欧米の美術館教育の現況と日本の美術館教育の進むべき道
	横浜美術館	柏木 智雄	アメリカ	93年4月～5月	アメリカにおける岡倉天心の活動と業績ーボストンを中心として
1994年度	町田市立国際版画美術館	河野 実	中国	94年7月～9月	中国版画史研究ー民間版画の研究
	静岡県立美術館	立花 義彰	台湾	94年10月～12月	日本近代洋画と極東地域の洋画(台湾近代洋画)との比較、考察のための基礎研究や藤島武二らをはじめとする訪台の画家、台湾画家に関する文芸作品、文献調査
	徳島県立近代美術館	吉原 美恵子	オランダ	94年4月～7月	オランダ現代美術の動向と現状
	福岡市美術館	尾崎 直人	タイ	94年12月～95年3月	タイ陶磁古窯址の現地調査及び伝世しているタイ陶磁作品との実証的比較研究を行うための基礎的データの収集と整備
1995年度	北海道立近代美術館	苫名 真	オーストラリア	95年9月～11月	オーストラリアの現代工芸状況について
	宮城県美術館	和田 浩一	アメリカ	95年9月～11月	アメリカ前衛画家とカンディンスキー
	群馬県立近代美術館	松下 由里	イギリス、フランス、ベルギー	95年9月～12月	英国のラファエル前派における中世美術の影響
	東京都庭園美術館	時田 仁弘	ドイツ	96年5月～6月	ドイツの美術館における管理運営
	川崎市市民ミュージアム	深川 雅文	ドイツ	96年1月～2月	写真モダニズム論ーヴァイマルにおける「新興写真」の運動とその問題
	岡山県立美術館	宮本 高明	アメリカ	95年10月～12月	トマス・エイキンズ作品および米国内におけるエイキンズ研究における実態に関する調査
1996年度	郡山市立美術館	菅野 洋人	イギリス	96年10月～12月	明治前期来日した3人のイギリスの水彩画家(A.イースト、J.パーレー、A.バーソンス)の作品調査
	東京都庭園美術館	高波 真知子	フランス	96年5月～7月	歴史的建造物を美術館として転用する海外の美術館調査及び展覧会と建築物との相互関係
	滋賀県立近代美術館	尾崎 佐智子	アメリカ	96年10月～12月	ミニマル・アート及びランド・アートに関する調査、資料収集
	浦添市美術館	宮里 正子	イギリス、フランス、ドイツ	96年8月～10月	ヨーロッパに伝世される東南アジアの漆工芸品ー東南アジア漆工芸からみる琉球漆工芸における南伝性について
1997年度	いわき市立美術館	杉浦 友治	フランス	97年4月～7月	現代美術に提示される環境ー脱美術館化と美術館
	平塚市立美術館	小池 光理	アメリカ	97年6月～9月	摩天楼の歴史。また各年代の写真家が摩天楼をどのように表現したかを通じて都市像の変遷を明らかにし、そこから将来の都市のあり方を考える
	山梨県立美術館	岩井 慎太郎	ドイツ、スイス、アメリカ	97年9月～12月	ドイツの美術館教育システムとアール・ブリュットに関する状況について

	三重県立美術館	桑名 麻里	フランス	98年1月～3月	マチスにおける装飾と空間の問題(ヴァンスの礼拝堂を中心に)ポンピドゥー・センターにおける建築部門の資料管理についての調査
1998年度	栃木県立美術館	木村 理恵子	ドイツ	98年5月～7月	画家たちの舞台オスカー・シュレンマーを中心に
	東京都庭園美術館	関 昭郎	イギリス、フランス、ドイツ、ポルトガル	98年9月～11月	世紀末の宝飾美術家の研究及び宝飾品の展示と保存について
1999年度	北海道立近代美術館	佐藤 幸宏	イギリス、ドイツ、アメリカ	00年1月～3月	大英博物館の日本近代版画コレクションの調査及びドイツとアメリカにおける表現主義版画コレクションの調査
	東京都写真美術館	神保 京子	イギリス	99年9月～12月	英国におけるヨーロッパ芸術写真の動向と英国の美術館における写真展開催のプロセスについて
	渋谷区立松濤美術館	味岡 義人	中国	99年4月～5月	近現代において日本で学んだ中国人画家、特に傅抱石と嶺南派に関する資料の収集
	砺波市美術館	橋本 文良	アメリカ	00年1月～3月	美術館教育普及とメディアに関する調査。特にハンズ・オン(体験学習できる)美術館の事例研究とチルドレンミュージアムの実例研究
2000年度	世田谷美術館	木村 祐子	アメリカ	01年6月～8月	展覧会企画の現状及び美術館運営調査
	和歌山県立近代美術館	奥村 泰彦	タイ	00年7月～8月	タイにおける現代版画制作の歴史と現状
	名古屋市美術館	竹葉 丈	アメリカ	00年10月～12月	近代日本写真の調査
2001年度	北海道立近代美術館	中村 聖司	スウェーデン他	01年6月～7月	近代北欧諸国における風景画の展開に関する調査
	東京都庭園美術館	牟田 行秀	イギリス、イタリア	02年1月～3月	明治期の近代化の過程に旧皇族や華族が果たした役割を、旧侯爵鍋島直大の滞欧時代を核に据えて、日本近代美術史との関連で考察する
	練馬区立美術館	野地 耕一郎	イギリス、イタリア、フランス他	01年10月～12月	初めて西洋を見た日本画家・渡辺省亭(わたなべ・せいてい)の欧米における行跡と作品調査
	静岡県立美術館	李 美那	韓国	01年11月～02年1月	韓国と日本の近代洋画における相互交流
	島根県立美術館	真住 貴子	イギリス	01年5月～7月	肖像画家・石橋和訓の在英作品、資料所蔵先調査及び同時代の在英日本人画家の動向について
2002年度	北海道立近代美術館(前同旭川美術館)	浅川 真紀	イギリス	02年12月～03年3月	鑑賞者の創造性をひきだす展示・教育活動のあり方
	東京都現代美術館	渡部 葉子	イギリス	02年9月～11月	セント・マーティンズ美術学校の系譜—1960年代末から70年代初頭のアートシーンを中心に
	東京都写真美術館	中村 浩美	フランス、ベルギー	02年9月～10月	モードと写真—触発しあうふたつの眼
	三重県立美術館	生田 ゆき	イギリス	02年11月～03年2月	17世紀バロック絵画研究
	福岡アジア美術館	中尾 智路	フィリピン	02年7月～8月	フィリピンのサント(聖像)の調査・研究～フィリピンにおけるキリスト教の受容、および汎アジアのキリスト教美術の位置付け
2003年度	群馬県立近代美術館	矢内 克聡	イタリアほか	03年9月～12月	15世紀から18世紀におけるヴェネツィア共和国のコレクションの形成、移動とパトロンについての考察
	東京都写真美術館	鈴木 佳子	アメリカ	03年6月～8月	社会改良を成し遂げた写真—19世紀末から20世紀前半にアメリカ写真に観る
	横浜美術館	木村 絵理子	アメリカ	03年8月～10月	イサム・ノグチの作品ならびに資料調査—舞台美術と彫刻作品との相関関係についての研究
2004年度	東京都庭園美術館	中原 淳行	アイルランドほか	05年1月～3月	展覧会企画案「芸術家の家・アトリエの世界」(仮称)に基づいた、作品調査及び出品交渉
	東京都現代美術館	森 千花	イギリス	05年9月～10月	イギリスの美術館における現代美術を伝える教育プログラムの調査
	滋賀県立近代美術館	田平 麻子	フランス	05年1月～3月	ポール・ゴーギャンの作品と19世紀フランスにおけるプリミティヴィズムとの関わりについての調査、資料の収集
2005年度	北海道立近代美術館	井内 佳津恵	韓国	05年11月～06年1月	日本統治時代における朝鮮半島の美術状況—韓国の美術館、博物館に所蔵されている作品、資料を通して
	福島県立美術館	荒木 康子	アメリカ	06年2月～4月	ベン・シャーン—絵画と写真をめぐって
	東京都写真美術館	丹羽 晴美	オーストラリア	06年2月～3月	オーストラリア現代作家の作品・活動調査。主に現代のメディア戦略における作品表現との関係について
	金沢21世紀美術館	村田 大輔	アメリカ	05年11月～12月	現代美術館におけるレジストラの役割
	福岡市美術館	岩永 悦子	イギリスほか	06年1月～2月	インドネシア・スラウェシ島および日本に輸出されたインド貿易染色の成立過程について—紺手格天井更紗を中心に
2006年度	渋谷区立松濤美術館	谷 亜紀	ドイツ、スイス	06年11月～07年2月	アレクセイ・フォン・ヤウレンスキーの人間像の研究
	金沢21世紀美術館	吉岡 恵美子	アメリカ、イギリス、オランダ	2006年夏	グレイソン・ペリー研究
2007年度	姫路市立美術館	高瀬 晴之	ベルギー、オランダ、フランス	2008年3月	ベルギーにおける象徴主義の展開
	島根県立美術館	柳原 一徳	フランス	07年5月～6月、11月～12月	19世紀フランス・アカデミスム絵画研究
2008年度	北海道立釧路芸術館	柴 勤	フランス	08年12月～09年2月	第1次世界大戦下のパリにおける芸術家の社会史～マリー・ヴァンリーエフをめぐるネットワーク検証
	埼玉県立近代美術館	平野 到	ドイツ	08年9月～09年1月	ドイツのグループ・ゼロに関する調査研究

2009年度	金沢21世紀美術館	北出 智恵子	スイス、イギリス、フランス、ドイツなど	09年9月～11月、10年2月～3月	ベーター・フィッシュリ デヴィッド・ヴァイス 作家作品調査・研究及び展覧会企画立案
	三重県立美術館	原 舞子	ドイツ、スイス	09年11月～12月	イケムラレイコ展のための作品調査
2010年度	東京都江戸東京博物館	早川 典子	スウェーデン	10年7月～8月	オープンエアミュージアムの教育普及活動と環境再現について
	大阪市立美術館	齋藤 龍一	スウェーデン、スイス、ドイツ、フランス、中国	10年5月～6月、10月～11月	「中国彫刻4000年展」をめざした作品調査
	兵庫県立美術館	服部 正	フランス、ベルギー、オランダ、ドイツ、デンマーク、イギリス、スイス、オーストリア、チェコ	10年8月～11月	ヨーロッパのアウトサイダー・アートの現在
2011年度	新潟県立近代美術館 (新潟市美術館派遣)	濱田 真由美	アメリカ	11年11月～12月	「ビデオ・アーティスト久保田成子」展(仮)の作品調査及び作家インタビュー、資料調査
	三重県立美術館	道田 美貴	アメリカ	2011年11月	曾我蕭白と蕭白周辺画師についての研究
2012年度	東京都庭園美術館	八巻 香澄	アメリカ	12年8月～9月	アメリカのミュージアムにおける、多様な来館者とのコミュニケーションとしての教育プログラムについて
	板橋区立美術館	弘中 智子	フランス、スイス、ドイツ	12年9月～10月	「種村季弘展(仮)」開催のための作品・作家調査
	福井県立美術館	佐々木 美帆	アメリカ	12年5月～6月	「生誕150年 没後100年記念 岡倉天心展(仮)」をめざした作品調査
	丸亀市猪熊弦一郎 現代美術館	国枝 かつら	イギリス、アメリカ	12年5月、9月	フランシス・アップリチャード展(仮)のための作品調査及び展示計画立案
2013年度	埼玉県立近代美術館	吉岡 知子	ドイツ、フランス	13年11月～12月	原田直次郎の留学時代に関する調査
	岡山県立美術館	高嶋 雄一郎	アメリカ	14年2月～3月	アメリカの大自然とともに生きた日本画家 小圃千浦の足跡を辿る
	ふくやま美術館	平泉 千枝	アメリカ	2013年7月	アメリカ合衆国のコレクションにおけるジョルジュ・ド・ラトゥール
2014年度	東京都写真美術館	三井 圭司	フランス、イングランド、スコットランド	14年11月～15年1月	初期写真に関する英国の博物館等における保存方法の現状調査および日本での応用について
	三重県立美術館	生田 ゆき	アメリカ	14年7月、15年1月～2月	ボストン美術館所蔵ビゲロー・コレクション(型紙、染織資料)調査とデータベース作成
	姫路市立美術館	山田 真規子	ベルギー	14年9月～10月	「肉体の詩人 コンスタンタン・ムニエ展」(仮)開催に向けての作品調査および関係者との打ち合わせ
2015年度	町田市立国際版画美術館	和南城 愛理	オーストラリア	15年6月～7月	ヨルク・シュマイサー版画作品調査
	アーツ前橋	今井 朋	フランス、イギリス、ドイツ、ベルギー	15年10月～11月	ヨーロッパにおけるアートを利用したソーシャルインクルージョンの実践について
	世田谷美術館	野田 尚稔	イタリア、スイス、ドイツ	16年2月～3月	ブルーノ・ムナーリの作品調査
2016年度	栃木県立美術館	鈴木 さとみ	アメリカ	16年6月～8月	アメリカにおける日本の竹工芸作品の調査研究
	川崎市岡本太郎美術館	佐々木 秀憲	フランス、ベルギー、スイス、アメリカ	2016年5月	岡本太郎とアブストラクション・クレアション協会およびネオ・コンクレティズム関連作家の研究
2017年度	大分県立美術館	宗像 晋作	アメリカ	2017年5月	イサム・ノグチの海外所在作品の調査
	熊本市現代美術館	佐々木 玄太郎	中国	17年7月～8月	上海の現代アートシーンの現状についての現地調査
2018年度	群馬県立館林美術館	松下 和美	フランス	18年6月～7月	フランソワ・ポンポン作品調査
2019年度	高知県立美術館	朝倉 芽生	アメリカ	19年9月～10月	写真家・石元泰博のシカゴ時代について
2020年度	金沢21世紀美術館	横山 由季子	フランス	20年9月～10月	ジャン＝リュック・ヴィルムートの作品およびプロジェクトについての調査 ※新型コロナウイルス感染拡大により未実施
2021年度	新型コロナウイルス感染拡大により派遣中止				